

# 中学校社会科における学力向上に係る効果的事例

【蓮田市教育委員会】

## 1 学習意欲の喚起

### (1) 学習規律を確立する指導体制

本校では、充実した学習内容の生徒への浸透と学力向上の基盤として、学習規律の確立を最重要課題ととらえ、「学習規律を確立する指導体制の研究～学ぶ意欲の向上をめざして～」という校内研修課題を設定し、取り組んでいる。具体的な取組として、

#### ①始業時・終業時のあいさつ

・授業の開始時に心をこめて「お願いします。」、授業の終了時に満足感（充実感）を持って、「ありがとうございました。」と言える。

#### ②授業規律に関するアンケートに基づく学習規律の確立

・授業規律に関するアンケートを活用し、成果と改善点やその手立てを検討し、支援する。

### (2) 学習形態・評価等の工夫

下の表の例のように課題選択学習や班学習、個人発表、グループ発表と発達段階に応じ、学習形態を工夫し、1学年から計画的に取り入れ、自主的な学習活動を支援した。3学期の課題選択班学習の近世日本の人物調べでは、クイズ番組形式、劇形式、紙芝居形式等、工夫をこらし、発表も盛り上がった。

#### ・個人単位の課題学習

学期	時間	学習内容	指導上の留意点	評価方法
1 学期	3	行ってみたい国調べ	教科書や資料集、地図帳を利用するとともに旅行パンフレットなどの資料の収集と活用法を学ぶ。文章とイラストで簡潔にまとめることができるよう支援する。	・自己評価 ・相互評価(学年全員の調査した国を白地図に書き入れ確認、感想記入) ・国名テスト
	2	旧石器～弥生時代の遺跡まとめ	教科書や資料集、地図帳などを利用し、イラストなどを工夫し、短時間で簡潔にまとめることができるよう支援する。	・自己評価(発表、評価、感想記入) ・相互評価(視聴、評価、感想記入) ・年表テスト
3 学期	4	都道府県の調査	自分の興味・関心のある都道府県を選択し、資料を収集・活用し、イラストマップを作成し発表できるよう支援する。	・自己評価(発表、評価、感想記入) ・相互評価(視聴、評価、感想記入) ・都道府県名テスト

#### ・班単位の課題学習

学期	時間	学習内容	指導上の留意点	評価方法
1 学期	4	四大文明	各班でテーマを選択し、調べ、まとめ、発表することを通し、歴史学習への意欲の醸成と発表の約束等の確認する。	・自己評価(発表、評価、感想記入) ・相互評価(視聴、評価、感想記入) ・年表テスト
2 学期	6	身近な地域の調査	各班でテーマを設定し、調査、まとめ、発表することを通し、身近な地域に関心を深め、特色を捉えられるよう支援する。	・自己評価(発表、評価、感想記入) ・相互評価(視聴、評価、感想記入)
3 学期	8	近世日本の人物調べ 信長・秀吉 家康等	各班で課題設定、選択をし、発表形式の工夫(ロールプレイング、クイズ形式等)他グループの学習内容について、評価表などを工夫し、学習内容の確認と定着を図れるよう支援する。	・自己評価(発表、評価、感想記入) ・相互評価(視聴、評価、感想記入) ・年表テスト

## 2 基礎基本の定着

社会科が苦手な生徒に対し、できるだけ多く声かけをし、個別指導の機会を多く設けるよう心掛けている。また、教科書を読む習慣が身に付くよう働きかけている。また、小テストやドリルを行い、基礎・基本の定着とやればできるという実体験と自信を身につけるよう支援している。

## 3 思考力・判断力・表現力の育成

日々の授業での発表活動、授業や定期テストにおける思考を問う課題設定を工夫し、評価において改善点等を指導している。また、1(2)の表に記したように、個人や班の興味・関心に基づいた課題選択の設定、資料作成、発表、視聴、評価などの諸活動を通し、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。